



フォレスト

Kankyo Gijyutsu Center, Ltd

令和7年
4月号

◇ 排水基準及び検査方法の改正

令和7年4月1日から排水基準を定める省令が改正され、「大腸菌群数」が「大腸菌数」に変更されました。許容限度が800CFU(コロニー形成単位)/mLに設定されました。



https://www.env.go.jp/press/press_02672.html

◇ 浴槽水の水質基準及び検査方法の改正

令和7年4月1日から公衆浴場における水質基準等に関する指針が改正され、「大腸菌群」が「大腸菌数」に変更されました。

◇ 有機フッ素化合物PFASの水質基準、定期検査を義務化へ

令和6年2月6日に中央環境審議会において、健康への悪影響が懸念されている有機フッ素化合物「PFAS」について水道法の水質基準引き上げの報告書案が了承されました。水質基準においては、水道事業者は定期的な水質検査が必要となります。2026年度から施行される見通しです。



<https://www.env.go.jp/water/pfas.html>

◇ 蛍光灯の製造が2027年に禁止されます

「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議」において、2027年末までに蛍光灯の製造および輸出入が禁止されることが合意されました。このため、現在使用中の蛍光灯はLED照明器具に交換する必要があります。



https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/mercury/syuutipresentation.pdf

→ 蛍光灯の中にある水銀の役割とは？

蛍光灯に電流を流すと、電極から放出された電子と蛍光灯内部の水銀が接触して紫外線が発生し、この紫外線が蛍光物質と反応して光が生み出されています。水銀は原理上、蛍光灯に必要な物質であり、現在においても水銀の代替材料が存在しないため、蛍光灯の製造・輸出入が禁止されることになります。

→ 水銀に関する水俣条約とは？

水銀及び水銀化合物の人為的排出から、人の健康及び環境を保護することを目的としています。この条約の背景には、1956年に公式確認されたメチル水銀を含んだ化学工場等の排水により、水銀中毒が引き起こされた「水俣病」が契機となっています。ちなみに、日本の高度経済成長期に熊本県の水俣湾で発生した「水俣病」、新潟県の阿賀野川流域で発生した「新潟水俣病」、三重県四日市市で発生した「四日市ぜんそく」、富山県神通川流域で発生した「イタイイタイ病」を四大公害病といえます。

(株)環境技術センターは創業 50 期を迎えました

弊社、株式会社環境技術センターは、昭和 50 年に設立し、令和 6 年 7 月に創業 50 期を迎えることができました。ひとえに、日頃よりご愛顧を賜っております皆様のおかげと、心より御礼申し上げます。

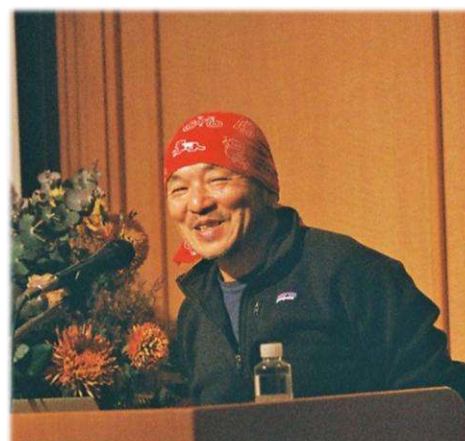
この節目を祝い、また今後の業務に対する士気を一層高めるため、12 月にホテルブエナビスタにて「株式会社環境技術センター第 50 期記念式典」を開催しました。式典実行委員会を設立し、委員会の皆さんの綿密な計画もあり、派手でなく、弊社らしい誠実で心温まる式典になったと感じています。

受付や司会進行は、式典実行委員会の皆さんで執り行われ、スケジュール通りに進行していきました。また、式典には OB・OG の先輩方も出席され、懐かしい顔ぶれと、昔話や思い出話で盛り上がりました。

講演会は、紀行作家のシェルパ齊藤氏を講師にお迎えして、「その答えは道の先にある」を聴講しました。講演会には、弊社の社員のみならず、グループ企業の皆様にも多くご参加いただき、大変嬉しく思います。

シェルパ齊藤氏の講演は、ご自身の生き様や、今までの体験により学んだことなど、私たちが体験できないようなお話で、いろいろ考えさせられる内容でした。

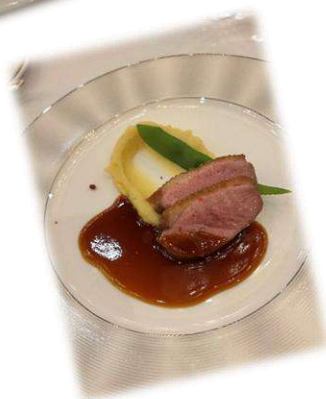
シェルパ齊藤氏には、特に独自の人生観を持ち、それをつらぬき通して生きる姿を感じました。



シェルパ齊藤氏



そして、講演会の後は、記念撮影を行い、フランス料理のフルコースを頂きました。お料理の味は勿論のこと、見た目も会場の雰囲気も、どれも大変素晴らしかったです。



半世紀にわたり、弊社は多くの方々に支えられ、協力をいただきながら今日を迎えることができました。この場を借りて、改めて深く感謝申し上げます。

今後も企業としての努力を重ね、皆様により質の高いサービスと技術を提供できますよう全力を尽くしてまいります。

引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

環境部 検査Ⅰ課 村上 暉（ヒカル）

霧ヶ峰高原の春

霧ヶ峰高原の八島ヶ原湿原は、環境省の「モニタリングサイト 1000」の調査地点となっており、私は 2008 年から調査員をさせていただいています。

街中で桜が咲く 4 月、八島ヶ原湿原はまだ冬です。八島ヶ原湿原の春の訪れは 5 月からです。

5 月、湿原周辺の木道、登山道を歩きながら確認できる植物は、サクラスマレ、タチツボスマレ、エイザンスミレ等のスマレ類です。スマレ類は、枯れたススキの隙間で陽光を浴びながらひっそり咲いていますが、その様子は、まさに芭蕉の俳句「山路来て何やらゆかしすみれ草」そのものです。



サクラスマレ



エイザンスミレ



タチツボスマレ

まだ芽吹きが少ないこの時期、目に入る緑の一つがヤドリギです。八島ヶ原湿原には、ミズナラの枝先にぶら下がるように寄生しているユーモラスなヤドリギが一つあります。

長年調査をしていますと、厳冬を耐え、湿原の際で文字通り「宿っている」ヤドリギの生育を 5 月に確認できると安堵します。

ちなみに、ヤドリギの花言葉は、困難に打ち勝つ、「忍耐」です。



ヤドリギ

「モニタリングサイト 1000」とは、環境省が 2003 年に始めた生物多様性の保全を目的として、全国に 1,000 か所以上の調査サイトを設置し、100 年以上モニタリングを継続する事業です。

Photo・コラム 小原 宏文

毎年恒例、11 回目の献血を行いました

創立 40 周年を記念して始めた献血活動も、今年で 11 回目を迎えました。

毎年、4 月 1 日に実施していますが、実は他にも「全社員集合写真」を撮影する日でもあります。そんな“全員集合の日”に、献血参加というのが恒例行事となっています。

献血の後は、「豪華ステーキ弁当」をいただきました。体にも心にも嬉しい、そんな一日となりました。



編集後記

先日、PTA 役員の任期が無事終わりました。私の住んでいる地区の児童数はとても多く、行事の際には多くの子供たちが集まりました。そのエネルギーに圧倒されましたが、希望も感じました。おじさんも負けずに頑張りたいと思います 🍌

☆よろしければアンケートにご協力ください ➡
ご回答は匿名ですので、お気軽にお願いします



<https://forms.office.com/r/peBsn3MX36>



株式会社 環境技術センター

〒399-0033 長野県松本市大字笹賀 5652-166

TEL 0263-27-1606 (代表、技術営業課、計画課)

0263-88-6911 (検査 1・2 課直通) 調査

0263-88-6912 (検査 3 課直通) 分析

ホームページ <https://www.kgcenter.co.jp>